

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスきぼう			
○保護者評価実施期間	2025年4月18日		～	2025年 5月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	7年 5月 10日		～	7年 5月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	7年 5月19 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員が有資格者（保育士、児童指導員）なので、専門知識を活用して支援を行うことができる。	専門性を更に充実させるために、毎月内部研修を行っています。また、外部研修も行い、スキルアップに繋がっています。	全職員が外部研修を受講する機会を増やしていきます。
2	食育にも力を入れており、おやつ作りや調理活動を行うことで、生活力を上げる支援を行っている。	毎日できるだけ、手作りおやつやフルーツをおやつで提供している。	新しい手作りおやつを考えて、提供していく。
3	外出活動を多く取り入れ、社会でのマナーや約束事も学習し、また、コミュニケーション力も上がるように支援している。	バラスポーツ教室に参加し、近隣の子供達や高齢者との交流も図っている。	沢山の近隣でのイベントに参加していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や幼稚園、児童発達事業所と関わりが少ないので、利用が決定した後に、情報の共有を行う。	保育所等に中々連絡を取るところまでいかない。	相談支援事業所と連携を取りながら、情報の共有を行っている。
2	法人全体でのお祭りなどができない。	母体が高齢者施設なので、感染症まん延防止の為、開催することが中々難しい。	法人単位ではなく、少数の事業所だけでできるイベントを考えていく。
3	他事業所との利用者さんとの関わりが少ない。	時々公園などで会った際に、一緒に活動するくらいなので、関わる機会が少ない。	より他事業所との関わりを増やし、コミュニケーションの機会を増やす。